

平成26年度 算数科教育にかかわる現状と課題

部長 高橋 邦彦

1 算数科教育の動向

○上越地区

上越市では、「算数を愉しむ子ども」について、大学教授から指導をいただき授業公開を行った。柏崎市・刈羽郡では、市立教育センターの研修講座への参加と授業研究会を通して、「数学的な思考力・表現力を育む算数的活動」について、研究をいっそう深めた。糸魚川市では、市教委と共催の「優れた授業に学ぶ会」の授業研修会を通して、「学ぶ意欲の高まり」をめざした算数科授業のあり方を研修した。妙高市では、「みんなで創る楽しい算数・数学～思考力・判断力・表現力の育成～」について公開授業研究会等を通して研修を深めた。

○中越地区

長岡市・三島郡では、「思考力、表現力をはぐくむ算数・数学的活動の工夫～学び合い活動を通して～」について、授業研究会等を通して研究を進めた。三条市では、「少人数グループでの学び合いと考えを伝え深める工夫」について、授業研究会を通して研修を深めた。小千谷市では、「できた、分かったという体験」を積み重ねる学習について、研修会と授業研究会を行った。加茂市・南蒲原郡では、学力向上の取組について、Web配信・算数B問題を中心に研修を行った。十日町市・中魚沼郡では、「活用力」について、各自で研修テーマを作成し、レポートを作成する取組を行った。見附市では、NRTの分析の仕方について、中学校1年生の事例をもとに研修を深めた。燕市・西蒲原郡では、「基礎・基本を活かした活用の工夫」について、師範授業や授業研究を通して研修を深めた。魚沼市では、「学力向上を図る授業改善」について校長自らが授業公開を行って研修を深めた。南魚沼郡市では、「学ぶ楽しさ・有用感」について、小中9年間の学びの見通しを視点として研修を行った。

○下越地区

新発田市・北蒲原郡では、「子どもが主体的に取り組む算数授業」について、授業研究を実施した。村上市では、「教材の有効性と授業展開」について示範授業や授業研究会を通して研究を進めた。五泉市では、「授業力の向上」について、授業研究や情報交換を行った。阿賀野市では、思考力・判断力・表現力にくわえて、算数科教科書の改訂ポイントについて研修を行った。佐渡市では、学力向上について、模擬授業や授業研究を行って研修を深めた。胎内市では、授業研究会や講演会を通して、指導力の向上及び小中連携について研修を深めた。東蒲原郡では、表現力について情報交換や指導案検討、授業研究会を行った。

○新潟地区

授業における「かかわりあい」に焦点をあてることで個としての学びと集団としての学びとの関連を9つの授業実践を通して研究を深めた。

2 算数科教育の課題

各郡市とも、研究主題を明確にして、固有の課題に対応した特色ある活動を実施している。とくに、郡市としての課題を共有するための話し合いや講演会、授業研究会などを実施しており大きな成果を上げており参考となる。

郡市の研修の伝統や積み重ねを大切にするとともに、これまでの取組を見直すきっかけとなるような郡市固有の児童の実態や指導上の課題把握もいっそう大切になってくるように思われる。